わかくさニュース

令和 4 年 10 月 14 日発行
令和 4 年 10 月号 No. 37

横浜市金沢区泥亀 2-12-1
TEL:045-784-6900
社会福祉法人恩賜財団済生会支部神奈川県済生会
特別養護老人ホーム　わかくさ

敬老祝賀会

敬老の日を皆様でお祝い致しました。
また長寿、百寿、卒寿、米寿、傘寿、喜寿、古希に
なられた方々をお祝いさせて頂きました。
皆さまおめでとうございます！

敬老会のお食事

萩ご飯、つみれと三つ葉のお吸い物
天ぷら（海老・白身魚・南瓜・茄子・ししとう）
煮物（カニ重ね蒸・里芋・蕗・人参・もみじ麩）
魚の照り焼き・牛肉巻き・スモークサーモンマリネ
春菊湯葉和え・寿厚焼卵・ねりきり
梨・ぶどう

介護保険制度について
第４回　認定調査とは

いつもお世話になっております。施設ケアマネジャーの古屋と申します。今回は認定調査についてご説明させて頂きます。

認定調査とは要介護認定を受ける為に、市区町村に要介護認定申請を行い、調査員が自宅や病院、施設で対象者の心身の状況を全国共通の 74 項目の聞き取り調査を行う事を言います。
また、もう一つ必要な物が主治医意見書というもので、主治医に心身の状態を記載して頂く書類を作成して頂きます。
認定調査票は１次判定と呼ばれるコンピューター判定の後、２次判定と呼ばれる保健・医療・福祉の専門家で構成される介護認定審査会で認定調査票・主治医意見書を基に審査・判定を行い要介護度の認定が行われます。

私がわかくさに入居されている大半の方の調査をさせて頂いていますので、少しでも入居者の方々が快適に過ごせるように、適切な調査を行っていけるよう努めて参ります。

特別養護老人ホーム　わかくさ
施設ケアマネジャー　古屋　幸佑

特養わかくさ部署紹介　【居宅支援事業所　わかくさ】

特別養護老人ホームわかくさに併設されている「居宅介護支援事業所わかくさ」は、地域包括ケア部に所属しており、地域の高齢者の方々が在宅で安心して生活を送っていただけるよう３名のケアマネジャーで日々支援を行っています。
歴史は古く平成１２年４月より平潟町で「若草ホーム居宅介護支援事業所」として金沢区全域を対象に事業を行ってきました。若草ホームが令和２年７月泥亀へと移転した際に、「居宅介護支援事業所わかくさ」へと名称変更し事業を継続しています。
ケアマネジャーの具体的支援内容としては、介護保険認定申請の代行や要支援・要介護の認定を受けた在宅の高齢者に適したケアプラン（介護の計画書）を作成し、その計画に基づいてサービスが提供されるようにサービス提供業者との連絡調整も行います。
また、専門スタッフによる介護関係の相談も承っておりますのでお気軽にお越し下さい。
（※介護支援専門員が不在となる場合がありますので、事前に連絡をしていただければ幸いです）

随　想

残暑厳しい休日、久しぶりに建長寺に足を運びました。
境内に入ると三門下でお坊さんがマイク片手に説法を説いており、15 人位の老若男女が聞き入っていました。「コロナ禍において知らずにストレスを感じている現在」特に「感謝の言葉やいたわりの言葉は、考えられないほどの大きな働きがある」と説いていました。さらに「ありがとうの言葉が日常的に飛び交っている修行先はとても居心地が良かった」という体験談も話されていました。
言葉と言えば、私にも忘れられない言葉があります。
約 40 年前カウンセリングの授業の中で「君はなぜそんなことを言ったのかなぁ？その言葉を言われた相手はどんな気持ちになったのかなぁ？」と繰り返し言われた恩師からの言葉です。患者さんとの会話の一場面を伝えただけなのに、時には心をえぐられる場面もありました。しかし恩師の学生に対する愛情と、全身から送られてくるエールを感じました。
忘れられない言葉はその時受けた感情や情景と共に、気持ちの中で生き続けていくのかもしれない。
ここにいる方々にとって居心地の良い場所になっているのだろうか・・・。

看護課長　髙橋　律子

わかくさの理念「ともに あなたらしさの虹をえがく」
～ 基本方針 ～
・良質なサービスを提供します・向上心を持った職員が接します
・地域との連携を図ります　・笑顔が絶えない施設をつくります